

新年のごあいさつ

美波町長 影 治 信 良



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族と共に健やかにこの輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町政各般にわたり温かい、しかも深いご理解とご支援をいただきありがとうございました。さらに、各種行事などの開催にご参加、ご協力賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨秋から放映が始まりましたNHK朝の連続テレビ小説「ウエルかめ」が、町民の皆様にとつて、明るい話題となりましたことは、この上ない喜びであります。放映に先立ち五月から始まりましたロケでのお接待やエキストラ役など、地域を挙げてご支援いただき誠にありがとうございました。この「ウエルかめ」がきっかけとなり、「うみがめマリンクルーズ」や「観光ボランティアガイド」が創設され、多くの観光客の方々にご利用いただいております。なかでも、うみがめ博物館カレッタでは入館者数が昨年に比べ約四倍となり、多くの来訪者の要望にお応えすべく十二月から年中無休で開館することいたしました。

ご支援をいただいた県当局をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

少子高齢化と人口減少が進む本町にとりまして、観光振興は地域活性化のまたとない好機でありますので、放映の効果を一過性に終わらせることなく、しっかりと活かして行きたいと考えているところであります。

また昨年は、新型インフルエンザの流行や政権交代など大きな出来事があった年でありました。

新型インフルエンザ対策では、住民の皆様の費用負担軽減を図るため、町独自の上乗せ助成の実施、また不況下における地域経済の底上げに寄与するため町発注工事の最低制限価格の引き上げなどスピード感をも

って取り組んだところであります。

一方で、一昨年の金融危機に端を発した経済不況がデフレと相まって、今なお回復の兆しが見えないことや政治においても政権交代が行われたものの、安定するにはまだまだ時間がかかりそうです。

このように経済的にも政治的にも不透明で困難な社会情勢にありますし、制度や仕組みが大きく変わろうとしていることから、本年も一層複雑で厳しい社会環境になるのではないかと危惧しているところであります。

制度や仕組みがどのように変わりましたが町民の皆様方お一人お一人が健康で明るく生き甲斐を持って日常生活をしていただくことができるか、そんな視点を絶えず持ち続けて、職員共々日々努力を重ねてまいりたいと思っております。

さて、本年は本町にとりまして、日和佐小学校改築事業、地域情報化基盤整備事業（ケーブルテレビ）、まちづくり交付金事業、伊座利漁港沖防波堤事業など、合併前後に計画された主要な事業が完成いたします。また、公共下水道事業（第一期分）や志和岐地区の漁業集落排水事業も年度末には完成の見込みであります。

このことから、本年を美波町の次のステップへの足掛かりの年と捉え、対話の町政を基本姿勢に「住んでよかったと実感できるまち」の実現に向けて、四つの重点施策である産業振興のまちづくり、安全・安心のまちづくり、未来を創る人づくり、持続可能なまちづくり、に、一歩一歩着実に取り組んでまいりたいと、決意も新たにしているところでありますので、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からご祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。